

南部計画INFO

川西市
Kawanishi City
2026.03 発行

久代地域で進むまちづくりの進捗をまとめたニュースレター

住民目線の都市基盤整備

暮らしやすいまちづくり

挑戦の軌跡

航空機騒音の影響を受ける久代地域で
住民と空港事業者の協力のもと取り組んできた
「川西市南部地域整備実施計画」
道路や公園などのインフラ整備が区切りを迎えました
近年の変化を振り返るとともに今後の取組をお知らせします



大阪国際空港（伊丹空港）にジェット機が就航した昭和39年以降、川西市久代・東久代（久代地域）では騒音問題が深刻化。発着時間が制限された一方、国が騒音区域から引越す際の費用の補償とその土地の買取を行いました（移転補償事業）。その結果、住宅地に移転補償跡地が蚕食状に広がり、人口が大幅に減少しました。市は、生活環境改善や地域コミュニティの再生等を図

るため、平成25年に新関西国際空港株式会社と基本合意を締結し、地域住民とのワークショップや自治会長へのヒアリングをもとに、平成26年に「南部計画」を策定。2度の改訂を経て、生活環境の改善や地域コミュニティの再生に向けたまちづくりに取り組んできました。令和7年3月に計画期間が終了したことを受け、近年の取組を振り返ると共に、来年度の取組をご紹介します。

令和5～7年度の都市基盤整備の事業を紹介

ここが変わった！ 南部のインフラ

住民の声を受け「道路交通の安全」「地域交流」を強化

大阪国際空港から航空機が離陸する音が響く川西市南部、久代地域。ここでは、住民の移転により大幅に減少した活気やコミュニティを復活させるため、南部計画を策定し、住民の声を受けてこれまでに総額約6.3億円をかけてインフラ整備を進めてきました。令和2年度以降は、インフラを整備するための工事が大きく進みました。

令和5年度以降の主な取組は次のとおり。住宅地でありながら、道路の排水機能が十分に整備されていない地域がありましたが、側溝を新設整備することで排水機能・道路の安全性が向上。道路のひび割れや段差も改善されました。また、市有地や新関西国際空港株式会社が保有する土地（移転補償跡地）の一部を活用し、交差点部分

の角を斜めに削る（隅切り）ことで、見通しが良くなり、道路交通の安全が確保されました。さらに、暫定緑地を、地域交流の場として公園に再整備しました。年代を問わず地域住民が交流し、運動や活動のできる場所となっています。

これらのインフラ整備には、新関西国際空港株式会社と関西エアポート株式会社からの助成金が活用されている他、道路用地など土地の寄付も受けています。このように、両社の協力を得ながら、暮らしやすいまちづくりに向けて、取り組んできました。

調整困難等を理由として計画期間内に達成できなかった事業もありますが、事業毎の個別事情を勘案しながら、引き続き取り組んでいきます。



After



Before

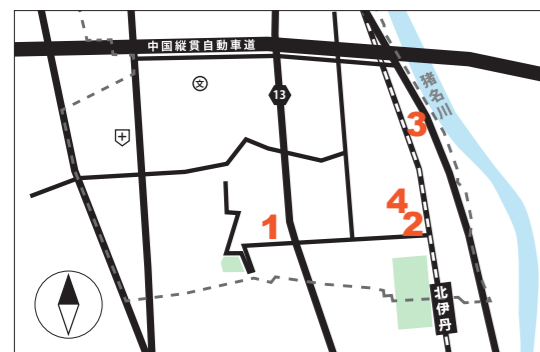
1 摂代地区 摂代地区側溝整備

摂代地区を南北に走る道路に側溝を整備し、併せて車道舗装を実施しました。側溝の内部は勾配を自由に付けられる設計になっており、集水された雨水は猪名川へ流れていきます。（令和6年完了）



2 高芝地区 高芝地区側溝整備

高芝地区を東西に走る道路に側溝を整備し、併せて車道舗装を実施しました。側溝の表面には凹凸がついており、滑りにくい仕様となっています。（令和7年完了）



位置図



Before



After

3 三葉地区 市道57号三葉公園改良工事

見通しが悪く、交通事故が起こったこともある市道57号の交差点。道路線形の変更・拡幅により見通しが改善されました。これに合わせて隣接する三葉公園を再整備しました。（令和5年完了）



地域全体での取組



暫定緑地

国が買い取った移転補償跡地のうち、市に寄付された土地。都市環境を形成する緑地として整備・活用しています。



隅切り

車の通行や見通しを良くするため、道路が交差する角地などで、敷地の角の一部を空地（道路状）にすること。暫定緑地や移転補償跡地の角が斜めに切り取られている様子が見られます。

4 高芝地区 高芝憩い公園整備工事



暫定緑地を活用し、新たな公園を整備しました。子どもたちがボール遊びができるよう、周囲がフェンスで囲われているのが特徴です（硬式野球やゴルフ等の練習は不可）。緊急時には、かまどとして利用できる「かまどベンチ」が整備されています。（令和5年完了）

住民の声 南部地域整備実施計画の一区切りに 久代コミュニティ協議会 会長 吉岡健次

久代は航空機の離陸直下であり、昭和39年ごろから騒音被害に苦しんできました。地区内の自治会で南部地区飛行場対策協議会が結成され、国を相手に訴訟し、約15年を経て和解成立となった歴史があります。

数度にわたるワークショップで地域の意見を出し合い、策定された南部計画が、11年間の一区切りを迎えることを喜ばしく思います。住環境の向上が進み、来年度には通学路となっている久代小学校南側道路も整備されると聞きホッとしています。今後は、移転補償跡地等の段階的な売却を新関西国際空港株式会社や市に求めていくことで、世代が継続していくことを願っています。久代コミュニティ協議会としても、地域のつながりを深め、住んで良かったと思えるまちづくりに取り組んでいきます。

令和 8 年度の取組を紹介

未完課題に引き続き対応

通学路等の道路整備と暫定緑地の売却開始を予定

市道 22・82 号の道路整備工事を実施

久代小学校の通学路を含む市道 22・82 号（陸上自衛隊伊丹駐屯地の北と東）には、舗装状況が悪く幅員が狭い場所があります。その解消をめざし、道路整備工事を実施予定です（令和 8 年度発注予定）。未舗装部を含めた全幅舗装工事や、側溝新設工事を実施することで、道路の安全性を確保します。

工事に伴い、車両等の通行規制が発生します。施工時の安全管理は万全を期しますが、通行の際はご注意ください。

市の暫定緑地の売却を開始

住民の転出により国が買収した土地「移転補償跡地」は、現在、新関西国際空港株式会社が所有し、関西エアポート株式会社によって管理されており、令和 6 年度から一般向けの売却が始まっています。

これに続いて、市が保有し緑地として維持管理してきた「暫定緑地」についても、令和 8 年度から売却していく予定です。



久代は幹線道路に隣接し商業施設が充実しており、東久代は JR 北伊丹駅や県立西猪名公園へのアクセスが良好です。この恵まれた立地と、新関西国際空港株式会社などの協力によるインフラや生活環境の整備により、土地活用の可能性が広がっています。住宅用地として活用されると、新たな住民が加わり、まちの活力向上が期待されます。急激な住民流入によって地域が混乱しないよう、複数年かけて売却を進める予定です。

住民の受け入れと生活の質向上へ

航空機騒音は長年私たちの暮らしに影響を与え、住みなれた場所を離れる理由にもなっていました。まちとして存続していくには、活気と地域コミュニティの形成が必須です。

平成 26 年より開始した「川西市南部地域整備実施計画」に基づき、市では久代地域のインフラ整備を進めてきました。ただ、私たちがめざすのは、単なるインフラの完成ではなく、これらの取組を通じて久代地域を「持続可能なまち」へと進化させることです。

今後も市民の皆さんや関係事業者と手を取り合い、質の高い生活空間を共に創り上げてまいります。

川西市長 越田 謙治郎

まちづくりの発展に協力

新関西国際空港株式会社では、関西エアポート株式会社と連携し「川西市南部地域整備実施計画」の推進に協力するため、平成 27 年度に助成制度を創設し、市が行う道路、公園等の基盤施設整備に対する助成や用地の寄付を行っております。

これまで、摂代地区における道路拡幅工事、高芝・摂代地区における隅切工事への助成及び用地の寄付、市道 57 号及び三葉公園改良事業、高芝・摂代地区における雨水排水施設整備への助成を実施してきました。また、今後、市道 22・82 号拡幅整備事業への助成も予定しており、引き続き、南部地域の発展に貢献してまいります。

新関西国際空港株式会社

かわにし **新**時代へ

川西市 都市政策部 都市政策課

川西市中央町 12 番 1 号 (5 階)
TEL : 072-740-1213

これまでの取組や
南部計画全文など
詳しくは市 HP へ

